

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成19年7月19日(2007.7.19)

【公開番号】特開2005-158255(P2005-158255A)

【公開日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【年通号数】公開・登録公報2005-023

【出願番号】特願2005-15727(P2005-15727)

【国際特許分類】

G 11 B 31/00 (2006.01)

G 06 F 3/16 (2006.01)

G 11 B 20/00 (2006.01)

【F I】

G 11 B 31/00 511A

G 06 F 3/16 340N

G 11 B 20/00 G

G 11 B 20/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月5日(2007.6.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

オーディオ信号処理回路(14)、オーディオ信号から可聴音を生成するスピーカ(18)、および制御回路(16)を有する音響再生装置(10)と、

前記音響再生装置をデジタル符号化ファイルと接続するインターフェース・ユニット(54)であって、前記制御回路(16)および前記オーディオ信号処理回路(14)に接続されるインターフェース・ユニット(54)と、

前記デジタル符号化ファイルの再生を制御する遠隔制御選択器(17)であって、前記音響再生装置の動作を制御する第1制御信号、および前記音響再生装置(10)を介する再生のため前記デジタル符号化ファイルの選択を制御する第2制御信号を生成することが可能な遠隔制御選択器(17)と、

を備えたオーディオ・システム。

【請求項2】

請求項1に記載のオーディオ・システムにおいて、さらに、前記インターフェース・ユニット(54)に接続され、前記デジタル符号化ファイルを記憶するコンピュータ(20)を備える、オーディオ・システム。

【請求項3】

請求項1または2に記載のオーディオ・システムにおいて、前記第2制御信号は、前記インターフェース・ユニット(54)への次のファイルを再生させる指令を含む、オーディオ・システム。

【請求項4】

請求項1～3のいずれかに記載のオーディオ・システムにおいて、前記音響再生装置(10)と一体化された無線チューナ(12)を含む、オーディオ・システム。

【請求項5】

請求項4に記載のオーディオ・システムにおいて、請求項3に従属するとき、前記遠隔

制御選択器（17）は前記無線チューナ（12）を同調させるチューニング・ボタン（128）を含み、前記指令は該チューニング・ボタンを押すことにより入力される、オーディオ・システム。

【請求項6】

請求項1～5のいずれかに記載のオーディオ・システムにおいて、前記第1制御信号はボリューム制御信号を含む、オーディオ・システム。

【請求項7】

請求項2～6のいずれかに記載のオーディオ・システムにおいて、前記インターフェース・ユニット（54）は前記音響再生装置（10）を前記コンピュータ（20）と物理的に接続する、オーディオ・システム。

【請求項8】

請求項2～7のいずれかに記載のオーディオ・システムにおいて、前記インターフェース・ユニット（54）は前記音響再生装置（10）を前記デジタル符号化ファイルと電気的に接続する、オーディオ・システム。

【請求項9】

請求項1～8のいずれかに記載のオーディオ・システムにおいて、前記音響再生装置（10）は、さらにハウジング備え、前記インターフェース・ユニット（54）は前記ハウジングと物理的に一体化される、オーディオ・システム。

【請求項10】

請求項1～9のいずれかに記載のオーディオ・システムにおいて、前記インターフェース・ユニット（54）は前記音響再生装置（10）にケーブルを介して物理的に接続される、オーディオ・システム。

【請求項11】

請求項2～10のいずれかに記載のオーディオ・システムにおいて、前記コンピュータは前記インターフェース・ユニット（54）と取り外し可能状態で接続される、オーディオ・システム。